

平成29年度第1回（第13回）外部アドバイザー委員会報告書

1 開催日時 平成29年5月31日（水） 10時32分～12時00分

2 開催場所 倉敷市立短期大学 大会議室

3 出席者

(1) 委員 出席5名

高田委員，山本委員，姫路委員，佐藤委員，浪速委員

欠席1名

海本委員

(2) 教職員 出席6名

溝手保育学科長，大原服飾美術学科長，金山図書館長，

森事務局長，安達学生部長，大森事務局主幹

欠席2名

江島学長，眞次学生部主幹

(3) オブザーバー 出席1名

小松企画経営室長

4 次第

(1) 溝手学科長挨拶

(2) 報告・審議事項

(3) その他

(4) 次回委員会開催時期について

5 外部アドバイザー意見

○ 意見1

企業との連携における時間的，予算的な制約の中で，バス等の利用により，学生が複数の会社を見学できればいいと思います。

○ 意見2

倉敷未来プロジェクトの中の下津井の活性化について，途中経過をワークショップ等で説明や報告があれば是非参加したい。とても興味があるので，またお示しいただきたい。

○ 意見 3

学生を元気づけるような卒業生が地元にはいっぱいいますので、地元企業で活躍している卒業生から発表してもらう場を設けてはどうですか。

○ 意見 4

街路灯の増設、短大前の停留所の設置要望等の問題もありますが、協力してより良い環境をつくっていきましょう。

○ 意見 5

安定的な退学であれば、上乘せして入学させれば良いと思います。やめることに否定的になる必要はなく、当然のことだと思います。違うことをしたい、次のステップに進みたいという理由であれば、自分たちがどう考えるかの問題だと思います。

少子化により、志願者数の減少は今後歯止めがきかない状況であるのは仕方がないこと。入学時に比べ卒業時の学生の価値を上昇させること、きちんと教育し、きちんとした学生を育てることが、今後重要と考えます。これからは、ぶれることなく計画的に大学運営を行っていくかが重要であると考えます。

また、保育士不足の対応については素晴らしいと思います。服飾美術学科の方は、バリエーションのある学生、枠にはまらない学生が活躍することを期待しています。

○ 意見 6

短大の教員や学生は学内外で活躍され、KCTや新聞等で紹介されているのを見かけます。短大に関係のない世代を対象としたワークショップや講座があれば、是非参加したい。参加することにより、短大の魅力を知ることが出来ると思います。